

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2021年3月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**66社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**1,883件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、**1日平均469件**の対象を検知しISPへ通知。

NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

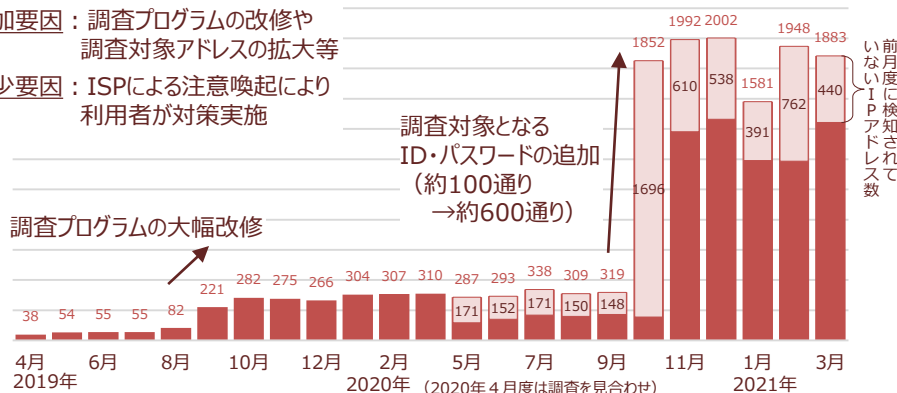
1,883件 (2月度:1,948件)

(参考) 2020年度の累積件数: 12,804件 (2019年度: 2,249件)
ID・パスワードが入力可能だったもの: 9.6万件

* 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)

増加要因: 調査プログラムの改修や
調査対象アドレスの拡大等

減少要因: ISPによる注意喚起により
利用者が対策実施



NICTER注意喚起※の取組結果

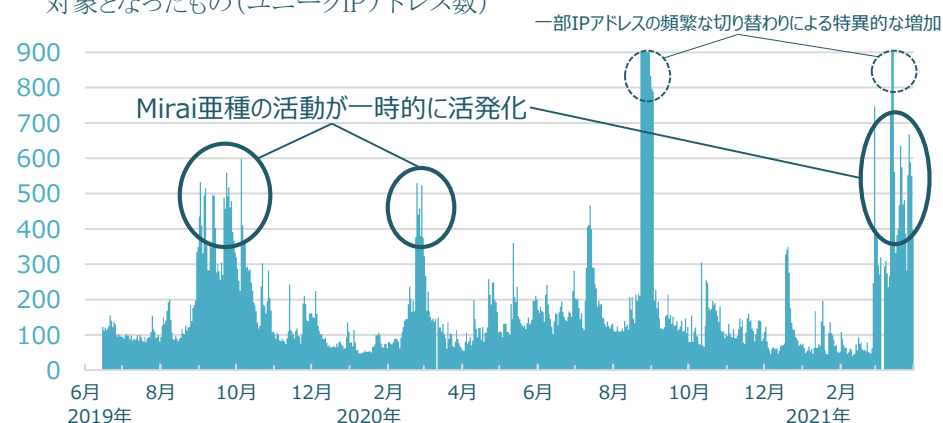
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均469件 (2月度:94件)

(参考) 期間全体での値: 1日平均190件
最小: 40件(2021/2/10) / 最大: 3,227件(2020/8/24)

** NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



- ✓ NOTICE注意喚起について、3月度は従来と比べ大きな変化はありません。(なお、1月度の一時的な減少については、対象機器に対し、本調査とは別に外部から攻撃・侵入が行われ、本調査が正常に実施できなかったことによるものと推測されます。このため、該当機器の利用者に対して、関係ISPとも協力し、注意喚起とともに詳細な状況確認を実施しているところです。)
- ✓ NICTER注意喚起については、2月末以降増加しており、これは海外でのMirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器が感染したことによるものと考えています。(なお、3月13日～16日にかけての増加は、一部のIPアドレスが頻繁に切り替わったことによる一時的・特異的な増加と考えています。)